

平成 28 年度決算を認定

総務 建設

9月定例会では、平成28年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）10件が上程されました。総務委員会と建設経済厚生委員会に分かれて3日間審議を行い、認定しています。

一般会計の決算額は、歳入203億6,549万3,332円、歳出203億974万8,300円、翌年度への繰り越し3,369万1,000円を差し引いた実質収支額は2,205万4,032円となっています。

各委員会において、執行者に対し述べられた意見・要望の一部をお知らせします。

一般会計

ふるさと納税

- 返礼品目的で納税していただくだけではなく、本来の趣旨に立ち返り、加西市に納税してよかったと感じていただけるよう、実施する事業、特に多くの方に支援を得て行うべき事業等について、十分なPRに努めていただきたい。



北条高校

- 北条高校アフタースクールゼミについて、受講者アンケートによる主観的な分析だけでなく、客観的な指標により、当該事業の成果を広く市民に対し、発信していただきたい。

観光

- 問** 滞在型観光バスツアー助成金制度について、どのように広報されているか。
- 答** 観光まちづくり協会において、「かさい観光ナビ」というホームページを開設しており、そこで助成金交付要綱を掲載し、周知しています。



- 滞在型観光バスツアー助成金制度の広報については、観光まちづくり協会だけに任せるのではなく、市としてもPRの拡充に努めていただきたい。

加西市PR

- シティープロモーション動画は大変よくできている。多くの方に見てもらうため、トップ画面に掲載する等、ホームページの改善に努めていただきたい。

移住・定住

- 移住・定住施策について、市内のみならず、周辺地域等への対外的なPRを検討していただきたい。

若者応援

- 若者応援事業について、市は、地方創生推進交付金を使って土台を作っているため、今後事業を継続していくにあたっては、市が新たに負担をしつづけることのないよう進めていただきたい。

職員研修

- 問** 職員の手話研修について。

- 答** 現在は、手話というものの存在意義の理解や、不自由な方々に対する職員としての心構えを、まずはしっかりと徹底していきたいと考えています。その後、さらに理解を深めていくような取り組みを行いたいと考えています。

- 引き続き、職員への手話研修の取り組みに努めていただきたい。



地域防災

- 地域の防災力の強化、各町の財政力等を鑑み、消防団に係る装備品、資機材、ポンプ庫等の充実や費用負担軽減に向けて、検討していただきたい。

健康

- 問** 歩いてみたくなるような環境づくりについて。

- 答** 地域ごとにウォーキングコースの設定、ウォーキングマップの作成、看板の設置などにより、意識付けや歩きたくなる仕掛けを行っています。また、市街地のポケットパークや公園などに健康遊具を設置し、楽しんで歩けるようなまちづくりにも取り組んでいます。



- 運動ポイント事業は、普段から歩こうということへの意識付けとして、すごくいい事業であると考えている。

市役所窓口

- 1階窓口は、転入される住民が接する最初の窓口であるため、様々な市のサービスや事業等の案内も含めて、わかりやすく説明するようにさらに努めていただきたい。

マイナンバー

- 生活していく上でマイナンバーは必要なものであるため、個人番号通知カードを紛失することが無くなるように広報していただきたい。